

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号

22

事業区分	行政事務	事務事業評価の履歴				有
事務事業名	カンガルー教室					
予算科目	4 款 1 項 5 目					
予算事業名	母子衛生費					
総合計画での位置づけ	安心な子育て環境をつくる					
担当課	健康福祉課	担当課長	國寄 和幸			
事業担当者	上安 由里恵	一次評価者	持松 可奈子			
事業の性格	法定事務					
法令根拠等	母子保健法					
事業の対象	2歳児とその保護者					
事業の目的	子どもが年齢に応じた発達ができるよう、教室を通して保護者への支援を行う。また他の子どもと関わるなどして、集団生活の準備の場として実施している。また参加者同士の仲間づくりの場とする。					
実施期間	開始年度	平成 23 年度から				
	終了年度	平成 年度まで				
事業の内容	NPO法人Forzaに委託し、保健師と共同で実施。遊びや制作課題、食を通して、発達に合った遊びや親子の関わり方について学んでもらう。また、1歳6か月児健診の経過観察の場としても活用している。					
目的達成の指標	在宅2歳児の教室参加者数・率					
	区分年度	単位	29 年度	30 年度	31 年度	年度
	目標	人(%)	34(65)	27(60)	30(60)	30(60)
	実績	人(%)	29(54.7)	23(51.1)		
指標設定の考え方	多くの対象者に参加してもらい、様々な親子と関わる機会が増えることで、目標達成に近づくと考えた。					
事業遂行時懸案事項等	同じ年齢の児と関わるのが少ない、在宅2歳児について参加を促していく必要がある。					
事業実施時懸案事項対応等	在宅2歳児について、参加できない理由を把握し、参加できそうであれば利用を促していく。					

PLAN(計画)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 104 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項目	29 年度予算	30 年度予算	31 年度予算	32 年度予算
事務量	① 人工数	0.09	0.09	0.09
	② 人件費単価	7,381	7,350	7,196
	③ 補助事業人件費			
	人件費(①×②-③)	664	661	647
事業費	直接事業費	352	271	271
	人件費	664	661	647
	合計	1,016	932	918
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他	1	1	1
	一般財源	1,015	931	917
	合計	1,016	932	918

事業費計画

(千円)

区分/年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度
目標	352	271	271	271	271
実績	352	266			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	29 年度予算	30 年度予算	31 年度予算	32 年度予算
教室案内件数	件	75	74	74	74
		81	76		
教室利用実人数	人	34	30	30	30
		29	34		
継続フォロー一件数	件	2	8	8	8
		8	7		

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 103 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項目	29 年度決算	30 年度予算	30 年度決算	
事務量	① 人工数	0.09	0.09	0.09
	② 人件費単価	7,129	7,350	7,187
	③ 補助事業人件費			
	人件費(①×②-③)	641	661	661
事業費	直接事業費	352	271	266
	人件費	641	661	661
	合計	993	932	927
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	1	1	1
	一般財源	992	931	926
	合計	993	932	927

実施備忘録

--

自己評価	評価者	上安 由里恵
------	-----	--------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	3	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	3	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		B
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	3	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		B
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		C
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	3	
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	3	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	3	
③公平性・透明性		B
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	3	
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 重点化	<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持	<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> 事業完了	<input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

在宅児は同じ年齢の児と関わる機会が少ないため、カンガルー教室を利用することで、他の児との関わり方や社会性を学ぶことができる。さらに2歳児は自我が発達して反抗期が始まるため、育児が大変な時期である。教室の中で保護者同士が育児についての悩みを話し合う場を設けているため、お互いが悩みを共有・解決することができる場となっているが、月1回の開催であるため、保護者同士の仲間づくりの場として、継続した関わりをもつことが難しい。

町内には子育て支援の拠点として、子育て支援センター木子里があるが、同じ対象の事業を行っており、保護者同士の仲間づくりの場として継続して活用されている。また保育士が常駐しているため、育児不安のある保護者の情報共有は母子保健担当と行っており、子育ての悩みがあった際は、すぐに対応することができる。そのため子育て支援係と協議を行い、カンガルー教室を見直し、「2歳児さんあつまれ」を中心とした事業を行うこととした。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

カンガルー教室に未参加の家庭には、乳幼児健診での案内や個別に電話連絡をしていたが、在宅2歳児の参加率は51.1%であり、目標の60%を達成することができなかった。

今後は、類似事業として子育て支援センター木子里で行っている「2歳児さんあつまれ」を中心に事業を行い、子育て支援センター木子里の保育士や子育て支援係と情報共有を行うとともに、巡回相談を通して、育児に対して不安や悩みがある保護者を把握し、対応する。

また「2歳児さんあつまれ」の中で、母子保健担当の保健師・管理栄養士による子育て講座も継続して行う。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

一次評価	評価者	持松 可奈子
------	-----	--------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

項目	評点	判定
1. そもそも必要な事業か？	4	B
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	3	
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。	4	B
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。		
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	B
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	3	C
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	3	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	3	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了

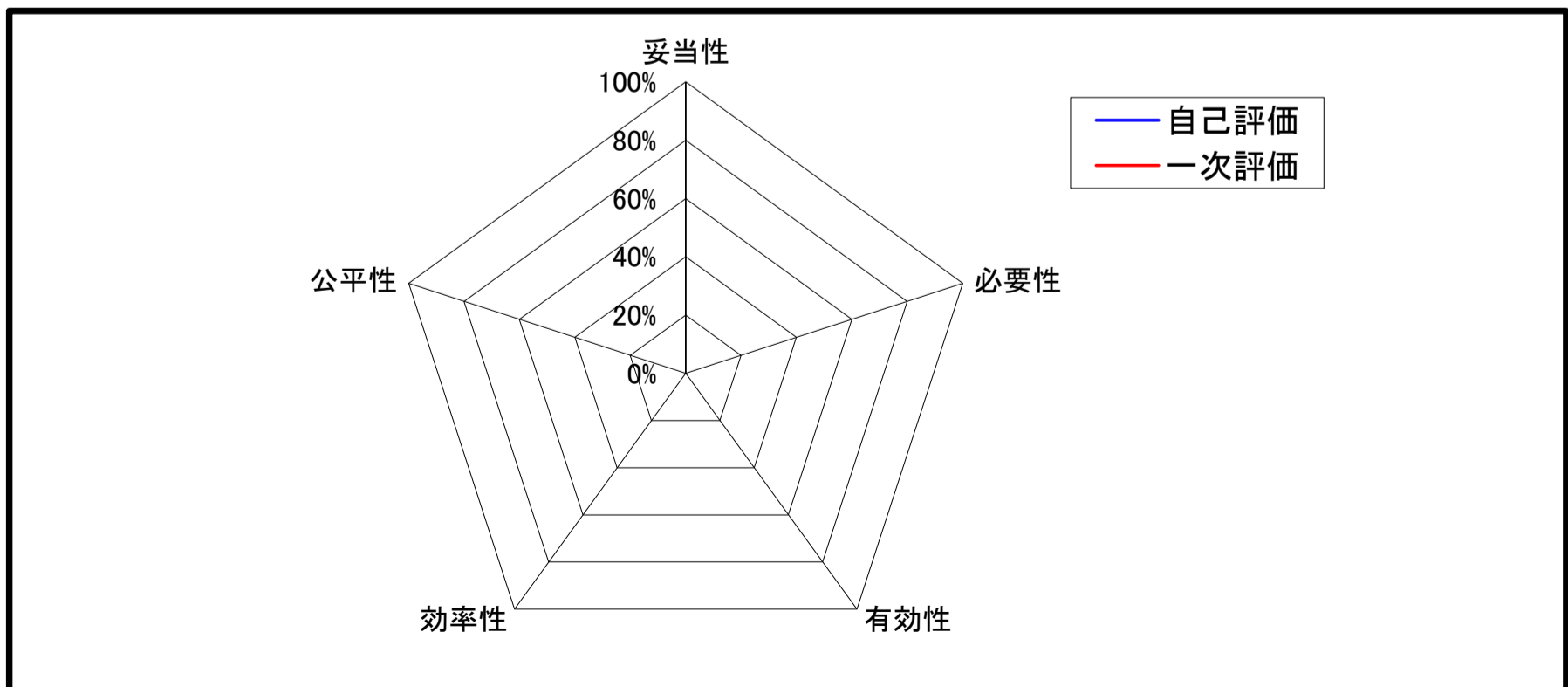


見直しの具体的内容
<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

子どもの発育、発達に応じた内容を取り入れた子育て支援の教室を行っているが、子育て支援センターでの事業と類似した内容である。
 子育て支援センターでは、赤ちゃん相談、子育て講座など健康課と共同で行う事業を行っている。
 本事業を今回見直し、子育て支援センターの事業を中心にを行うが、今後も福祉課、子育て支援センターと連携し、子育て支援を進めていく。

自己評価・一次評価の傾向



二次評価	評価者	國寄 和幸
------	-----	-------

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

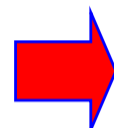
「カンガルー教室」については、1歳半健診から3歳児健診までのつなぎの教室として行ってきたが、子育て支援が木子里で行っている「2歳児さん集まれ」と一緒に実施することがより効果的と思われるため保健師及び栄養士と子育て支援の係りと合同で事業の更なる推進をしていく。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、
月 日
までに事務局へ提出すること。



- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。
月 日
開催予定



- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

事務事業の改善案

手段	
内容	

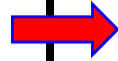
ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.

外部評価

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

外部評価委員の意見

--

経営者会議

経営者評価	選択してください
-------	----------

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

経営者会議の評価

--